

2022年12月15日

## 申 入 書

伊那市教育長 笠原 千俊 様

長野県上伊那郡南箕輪村菅沼 8864-1  
生活クラブ生活協同組合(長野) 伊那支部  
支部委員長 齊藤 真希

**子どもたちの食と安全を守るため、伊那市は小学校にてゲノム編集トマト苗を受け取らないでください。**

日本政府は2019年より、ゲノム編集技術を使って作られた食品のうち別の生物の遺伝子が挿入されていないものについては、何の規制もなく生産・流通することを認め、開発企業に対しては自主的な「届出」を求めるとどめています。2020年12月、筑波大学発のベンチャー企業サナテックシード株式会社のGABA高蓄積(通常の約5倍)トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の届出が受理されました。GABAは血圧抑制効果があるといわれるアミノ酸です。このトマトは、GABA合成酵素の自己制御のはたらきをゲノム編集技術を使って破壊し、常時活性化することによってGABAを増量しています。パイオニアエコサイエンス株式会社は、このゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」の苗を2023年に全国の小学校へ無償配布することを発表しています。

生活クラブ生協長野伊那支部の組合員は、多角的かつ長期的なリスクに関する情報が十分に公開されることなく、ゲノム編集食品の経済的効果だけを重視した商業化と、それを後押しする行政対応が進められていることに危機感を持っています。

生活クラブ生協長野伊那支部では、今回の小学校を対象にした企業活動の発表を受け、本年8月18日に「食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を受け取らないことを求める陳情」並びに「食の安全を守るため、小学校にてゲノム編集トマト苗を配布させない措置を求める意見書の提出についての陳情」を議会事務局に提出しました。この二つの陳情書は共に9月13日に総務委員会にて趣旨採択となり、9月16日の伊那市議会定例会にて趣旨採択となりました。

なお、同様の請願書を提出した宮田村では9月12日に宮田村議会福祉文教委員会にて全会一致で請願が採択され、9月15日宮田村本会議にて委員会発議が行われ、全会一致で可決されました。その他の自治体での対応は「OKシードプロジェクト」のwebサイトで確認することができます。

ゲノム編集トマト苗が配布され、それが栽培された場合周辺で交雑が進む可能性はゼロではなく、近隣の農家へ影響を与えかねません。また、「人体への長期的安全性が確認されていない技術を用いて作出された食物を子どもたちに食べさせることは許されない」という私たちの考えは、有機農業推進地区を目指して「伊那谷有機農業塾」を主宰し、「おいしい給食と有機野菜を食べる会」を開催する等の活動をしている伊那市と共有できると信じています。

### ◆申し入れ事項

1. 小学校へのゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギャバ」苗の無償配布に反対することにご理解をいただき、苗を受け取らないでください。

<回答書>

恐れ入りますが、本申し入れに対する貴教育委員会の対応をお聞かせいただければ幸いです。私たちの申し入れの趣旨をご理解いただき、ゲノム編集によって作出された作物の種苗などを開発・販売している企業等から受け取らないでいただけますでしょうか。

伊那市教育委員会

ご担当部署・ご担当者:

同連絡先:

ゲノム編集苗を

- 受け取らない
- 受け取る
- その他

いずれの場合もその選択の理由やコメントをお聞かせください

※回答結果は「OK シートプロジェクト」web サイトにて公開されることをご了承ください。

回答期限:2022 年 12 月 29 日

回答書は FAX またはメールにてお送りください

FAX: 0265-76-8200 (生活クラブ長野伊那センター)

メール:hitorisizuka@inacatv.ne.jp (斉藤 真希)